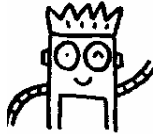


## げん 元は、なぜ日本に攻めてきたの



日本は「黄金の国」だと想像そうぞうしていたからなど、  
いろいろな説があるよ。

元が日本に攻めてきたわけには、いろいろな説があります。次の四つの説は、そのおもなものです。

### 日本は「黄金の国」だと想像していたからか

中国の人々は、当時の日本を、金がほってもほっても無くならず、国王の宮殿きゆうてんは純金じゆんきんでおおわれた黄金の国、と想像していたようです。フビライは欲張りよくばだったので、「黄金の国ジパング（日本）」を征服せいふくしたくなった、という説です。

### 日本が元とのつき合いをことわったからか

フビライは、日本に対して、何度も手紙を出したり、使者を送ったりしましたが、鎌倉幕府かまくらばくふや朝廷ちやうていは、返事の手紙を、一度も出しませんでした。そのため、フビライがおこって日本を攻めた、という説です。

### 南宋への攻撃なんそう こうげきに、日本水軍を利用するためか

南宋は、長江ちやうこうの下流あたりから南を支配していたので、南宋を攻めるときは、水軍が必要になります。モンゴル軍は、水上の戦いになれてないので、高麗こうらいの水軍だけでなく、日本の水軍も利用しようと考えて攻めてきた、という説です。

### 高麗を完全に支配するためか

高麗と日本・南宋との間には、船による人の往来がありました。フビライは、高麗を完全に支配するためには、まず、高麗と日本の関係を断ち切ることが必要だ、と考えて攻めてきた、という説です。